

林道事業（市事業）審議資料

（岐阜県事業評価監視委員会運営要領第6に基づく審議）

- 再評価対象箇所一覧表 . . . p 1
- 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について
公共林道事業（道整備交付金） . . . p 2
- 平成25年度 再評価実施箇所（附図）
公共林道事業（森安～万波線） . . . p 3
- パワーポイント
公共林道事業（森安～万波線） . . . p 4～p 8

平成25年度 再評価対象箇所一覧表 7月31日審議箇所

[飛騨市]

番号	事業名	路線・河川名	市町村名	採択年度	完了予定年度	事業概要		全体事業費		実施済み額		進捗率		経過年数 (H25.3現在)	政策との 位置付け	関連事業の進 捗状況	社会経済情勢 等の変化及び 地方の意向	環境との調 和への配慮 事項	事業費縮減	費用対効果 分析	対応方針 (案)	特記事項		
						全体事業量	事業実施量	(百万円) 用地補償費 工事費等	(百万円) 用地補償費 工事費等	(%) 用地補償費 工事費等	(%) 用地補償費 工事費等													
1	公共林道事業 (運搬備交付金)	森安～万波	飛騨市	S60	H31	林道開設 L=12,713m	林道開設 L=8,131m	2,150 0 2,150	1,225 0 1,225	57.0%	28年	森林づくり基本 計画 林業及び木材振 興産業の振興	-	事業継続・早期 完成を希望	固木材の利 用リサイクル 製品の活用	計画線形の 員直しし型 擁壁の活用	(1.4) 1.3	継続						

費用対効果分析：()は前回事業評価時の投資効果率

平成25年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

○事業制度について	事業名	公共林道事業（道整備交付金）	
	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・山村と都市の共生・対流を図り、快適な居住環境を広く創出することとし、居住地周辺の森林、山村地域の定住基盤、森林整備の基礎となり生活環境の改善にも資する骨格的な林道等の整備を総合的に実施する。 ・森林の持つ機能に応じた森林整備を計画的に推進することにより、森林の有する多面的機能の維持・増進を図り、森林環境の保全に資することを目的とし、このための森林整備に直結する林道を整備する。 	
	採択基準	<p>基幹道・・・地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が1000ha以上、かつ全体計画延長が7km以上。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が見込まれること。等</p> <p>管理道、施業道・・・地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が50ha以上、かつ全体計画延長が1km以上（過疎、特定・準特定市町村等は30ha以上かつ0.8km以上）。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が見込まれること。等</p>	
	概要 （メニュー）	<ul style="list-style-type: none"> ・森林基幹道開設 ・森林管理道開設 ・森林施業道開設 	
○費用対効果の分析について	効果の項目	うち貨幣換算する項目（B）	<ul style="list-style-type: none"> ・水源かん養便益 ・山地保全便益 ・環境保全便益 ・木材生産等便益 ・森林整備経費縮減等便益 ・一般交通便益 ・森林の総合利用便益 ・災害等軽減便益 ・維持管理費縮減便益 ・山村環境整備便益 ・その他の便益
		その他項目	
費用便益B/C	費用（C）の算定	<ul style="list-style-type: none"> ・費用の積み上げ基準：事業費（建設費）＋維持管理費＋森林整備費 ・単価の基準：評価を実施する年度 ・現在価値化に用いる割引率4%（B及びC共通） ・評価対象期間は事業完了後40年間 	
	費用便益比の基準	費用便益比（B/C） ≥ 1.0	

平成25年度 再評価実施箇所（附図）

番 号	1	事 業 名 (路線・河川名等)	公共林道事業（道整備交付金） 森安～万波線	
事業実施箇所	起点 飛騨市宮川町森安 終点 飛騨市宮川町万波	事業主体	飛騨市	
採択年度	昭和60年度	完了予定年度	平成31年度	
再評価の実施基準	再評価を実施した後5年間が経過した時点で継続中の事業			
事業目的	<p>飛騨市宮川町は、総面積19,989haのうち約96%が森林であるため、低コスト林業経営の展開や森林の適正な管理が必要である。森林内の路網の骨格となる幹線林道を開設することにより、林業の生産性の向上や山村地域の振興を図ることを目的とする。</p>			
事業概要	<p>林道開設 事業延長 L=12,713m 幅員 W=4.0m</p>			
概要図				

道整備交付金事業

森安～万波線の再評価

飛騨市

位置図

事業期間	昭和60年～平成31年(34年間)
事業費	2,150百万円
事業内容	幅員 4.0m 延長 12,713m
利用区域面積	717ha

飛騨市宮川町万波
終点

起点

飛騨市宮川町森安

	計画線
	利用区域

事業の進捗状況

終点

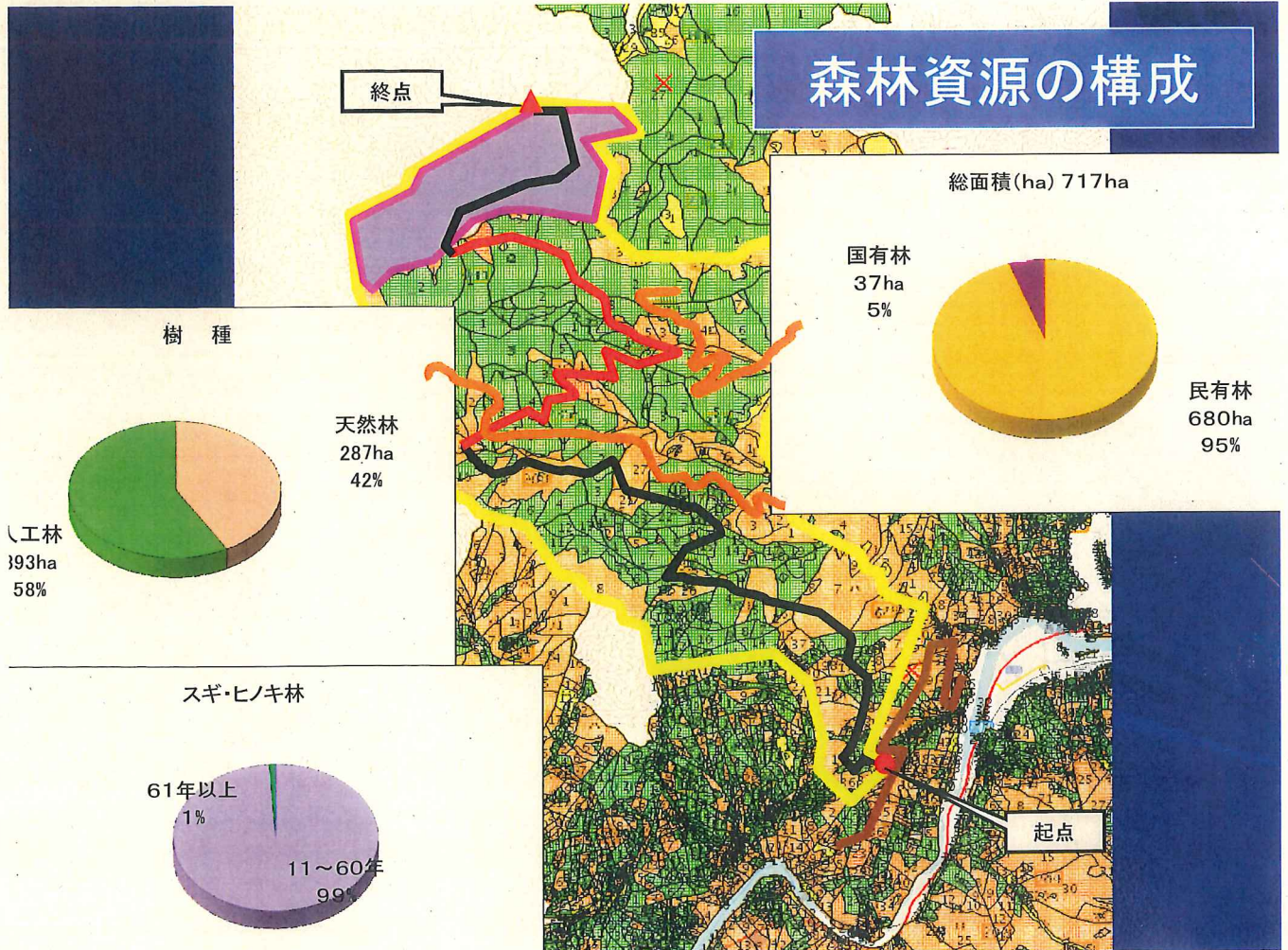
2,065m

4,582m

6,066m

起点

全体延長	12,713m
— 実施済	8,131m
— 残計画	4,582m
延長 進捗率	64.0%
事業費 進捗率	57.0%



森林整備の実施状況



費用対効果の分析

■ 事業の効果

木材生産便益	11%
森林整備経費縮減等便益	88%
その他の便益	1%

■ 投資的效果率

効果額

事業費

= 1.3 (前回1.4)

コスト縮減・環境への配慮

コスト縮減への取り組み

- 計画線形の見直し
- 掘削残土の有効利用
- L型擁壁の活用



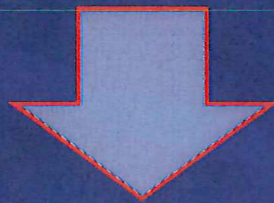
環境への配慮

- 間伐材を利用した工法の採用
- リサイクル製品の活用



関係者の意向

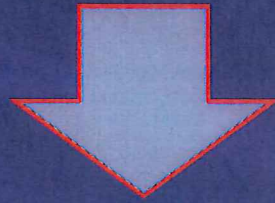
- 低コスト化(林業振興)
- 森林の適切な管理(山地災害の防止)



早期完成を強く要望

対応方針(案)

- 間伐を始めとした地域の森林整備を進める。
- 地元関係者は事業の継続・早期完成を強く要望している。



継続して事業を実施していく